

## 万富東大寺瓦窯跡における発掘調査(令和6年度)の 現場公開を行います

市では将来的な史跡の整備を見据え、万富東大寺瓦窯跡における発掘調査を毎年実施しています。今回、調査の対象範囲を北側へと移し、12月から発掘を行っており、調査も予定通り進捗したことから、現場を一般に公開し成果を紹介します。

### 1 日時

令和7年3月1日(土) 10時～15時 ※小雨決行

### 2 場所

万富東大寺瓦窯跡(東区瀬戸町万富)

### 3 内容

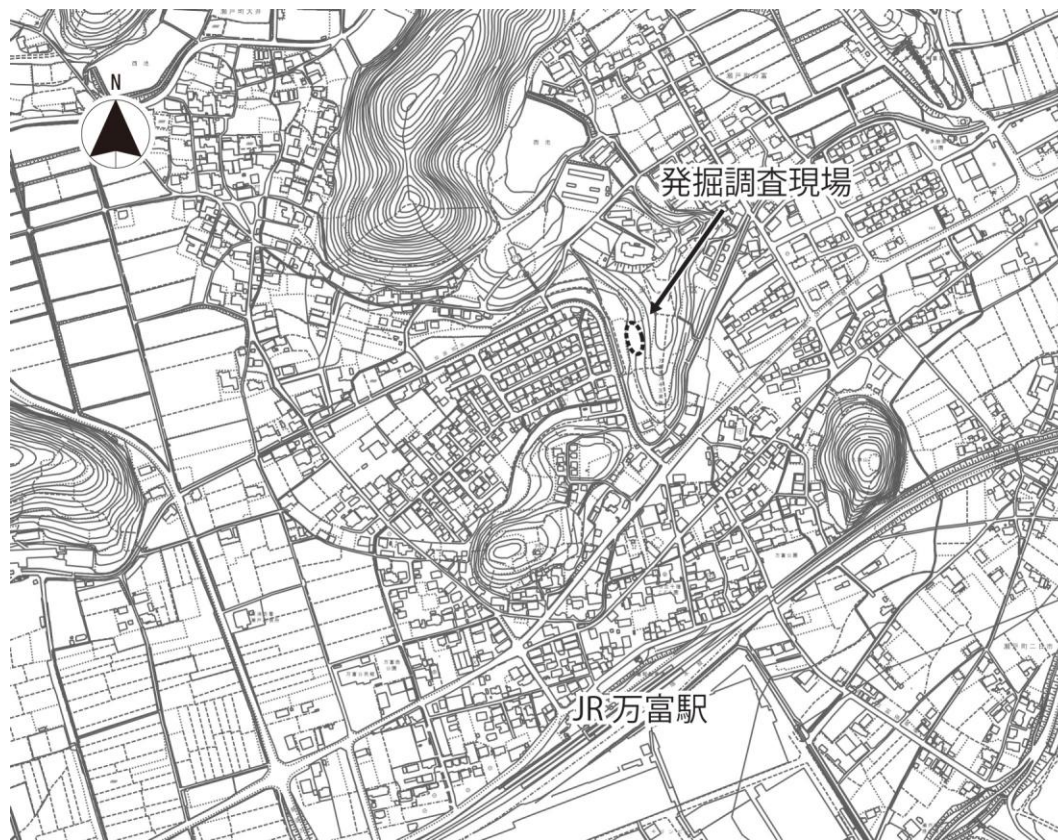
令和3～5年度の調査では瓦窯を計13基検出しています。令和6年度の調査においては、礎石建物、土器窯、瓦列を確認しました。特に、礎石建物は瓦窯の操業とほぼ時を同じくして築かれたことが分かり、基礎等の構造から仏堂の可能性が高まりました。瓦を生産した遺跡で礎石をもつ建物の存在は珍しく、その性格の追及は遺跡の価値づけにも関わってきます。また、遺物は瓦を中心としたものが出土しました。

### 4 その他

万富東大寺瓦窯跡は、鎌倉時代初頭(今から800年以上前)に東大寺再建の際、瓦を製造した窯跡で、昭和2(1927)年に国指定史跡となっています。

#### 【問い合わせ先】

岡山市教育委員会 文化財課 原田 直通086-803-1611 内線3877



発掘調査現場の位置図